

平成 23 年度 陵墓関係調査報告

陵 墓 調 査 室

調査の概要

書陵部陵墓課陵墓調査室では、「周知の遺跡」となっている陵墓、または文献に記載等があることにより、遺跡の可能性がある陵墓において、保全・整備のための土木工事などを実施するに際して、その施工区域・箇所における遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資するため、所定の手続きをふまえ、事前調査・立会調査を実施しているところである。

平成 23 年度においても、所轄陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関、さらには地元の教育委員会とも協力し、以下の区域・箇所において調査をおこなった。その概要を記すこととする。

〔事前調査〕 4 件

本年度は、以下の 4 件の事前調査を実施した。それぞれの調査についての報告文は、別掲、もしくは後掲することにする。

1 豊島岡墓地内（東京都文京区大塚 5 丁目）埋蔵文化財確認調査

多摩監区、3 月実施、担当：徳田誠志・加藤一郎

2 郡山陵墓参考地（奈良県大和郡山市新木町）整備工事に伴う調査

畠傍監区、10～12 月実施、担当：加藤一郎・横田真吾

3 百舌鳥部事務所（大阪府堺市堺区大仙町）改築工事に伴う調査

古市監区、12 月実施、担当：徳田誠志

4 応神天皇恵我藻伏岡陵飛地に号（大阪府羽曳野市白鳥三丁目）土留板柵設置その他整備工事に伴う調査

古市監区、1 月実施、担当：清喜裕二

〔立会調査〕 15 件

5 上野輪王寺宮墓地（東京都台東区上野公園 寛永寺両大師内）雨水排水整備ほか工事に伴う調査

多摩監区、1～3 月実施、担当：有馬伸

本墓地の調査に関する報告は、後掲。なお、出土遺物に関しては来年度以降に報告する予定である。

6 宗純王墓（京都府京田辺市薪字里ノ内 一休寺内）土壙改修工事に伴う調査

桃山監区、9 月実施、担当：藤井勲・舛吉悠也

正門木扉控柱設箇所 2 箇所（長さ約 0.7 m × 幅約 0.4 m）の掘削（深さ約 0.6 m）・埋戻しに立ち会った。掘削箇所の土層は数層に分けることができた。その床面において既設の礎石が検出されたことにより、各土層はすべて埋戻し土と判断された。遺構・遺物は出土しなかった。

7 明治天皇伏見桃山陵（京都市伏見区桃山町古城山）第三鳥居ほか改築工事に伴う調査

桃山監区、9・3 月実施、担当：玉石直裕・角野陽香

本調査により伏見城に伴うと考えられる瓦片が出土している。報告文は後掲する。

8 高屋山上陵（鹿児島県霧島市溝辺町麓字菅ノ口）巡回路鋼製階段改修工事に伴う調査

桃山監区、10～1 月実施、担当：岩元眞一

墳頂から南東部にあたる境界沿いの鋼製階段改修に伴う基礎ブロック設置、墳頂から北西部にあたる境界沿いの金網柵基礎鋼管打ち込み、拝所南西部の電気引き込み鋼管柱基礎、それぞれの掘削等に立ち会った。最深で約 1.2 m 掘削したが、在来工作物の基礎工事の際に埋め戻した土、もしくは地山（岩盤）であった。遺構・遺物は認められなかった。

9 鳥羽天皇安樂寿院陵（京都市伏見区竹田淨菩提院町）転落防止柵設置工事に伴う調査

桃山監区、3月実施、担当：北條朝彦

本陵の北西隅に新設する巡回用扉の基礎部の掘削（約0.5m四方、深さ約0.6m）、および正面濠沿いに設置する転落防止柵のコア抜きに立ち会った。前者は、表土下は土堤を構成する盛土内におさまり、遺構遺物は確認されなかった。

10 天智天皇山科陵（京都市山科区御陵上御廟野町）転落防止柵取設工事に伴う調査

月輪監区、1・2月実施、担当：山本昌弘

本陵の参道入口西側にある日時計側の旧安祥寺川沿いの擁壁上の支柱建込み箇所のコア抜きに立ち会った。基礎部4箇所のうち、3箇所で掘削を実施した。そのうち2箇所は既設のコンクリート面をコア抜き、もしくはコンクリート面上に新たにコンクリートをうって基礎を固定した。残りの1箇所では既設のコンクリート面を約25cm掘り下げたが、堤防造成時の盛土や既設コンクリート面の基礎部栗石を検出したにとどまった。遺構遺物は認められなかった。

11 花園天皇十樂院上陵（京都市東山区粟田口三条坊町）参道手摺取設工事に伴う調査

月輪監区、1～3月実施、担当：山本昌弘

旧桂宮邸宿舎通用門ほか本瓦葺屋根葺替その他工事という件名に含まれる工事である。本陵の参道に転倒防止のため、アルミ製手摺りを取り設けることとなり、その支柱を設置するためのコア抜き（深さ約25cm）に立ち会った。コア抜き箇所の多くは石段を貫通する程度であり、地面の掘削には至らなかったが、一部において、参道舗装時の盛土もしくはそれ以前の表土と思われる赤褐色土を認めた。遺構・遺物は出土しなかった。

12 宇和奈辺陵墓参考地飛地い号（奈良市法華寺町）境界標識埋設替工事に伴う調査

畠傍監区、5・6月実施、担当：小走泰弘・堂園雅章

本飛地は、大和2号墳ともよばれる前方後円墳である。形状の変更が著しいが、現状で全長約60mを計る。後円部後背部（北部）に位置する境界標石2本の埋設替えをおこなうことになり、その掘削・埋戻し時に立ち会った（最深約1.2m）。掘削箇所の基本層序は、上から腐葉土（表土）、暗茶褐色土（墳丘崩落土か）、黄褐色土（地山）であり、遺構・遺物は検出されなかった。

13 那羅山墓（奈良市法蓮町）拝所石柵整備工事に伴う調査

畠傍監区、8・9月実施、担当：小谷武史・南 義孝・鎌田幹史

応神天皇皇子大山守命那羅山墓の拝所は高生垣に囲われているが、石柵に模様替えすることになり、その設置に伴う掘削・埋戻しに立ち会った（最深で約0.8m）。また、参道入り口部を駐車場として整備することになり、その掘削等にも立ち会った（最深で約0.3m）。拝所西側の掘削箇所における基本層序は上から表土、地山であった。拝所東側における基本層序は上から表土、灰色粘質土であった。灰色粘質土はトレーニングに沿うように位置する水路に關係する後世の土層と考えられた。拝所正面の掘削箇所の基本層序は上から表土、地山であった。本拝所は、墳丘部から南に延びる丘陵を削り取り、造成されたことが知られた。駐車場整備箇所においては、後世の盛土内の掘削にとどまった。遺構は確認されなかったが、拝所西側の掘削箇所から現代の陶器が1点出土した。

14 小奈辺陵墓参考地（奈良市法華寺町）墳塁護岸整備その他工事に伴う調査

畠傍監区、11月実施、担当：清喜裕二・岩槻知樹・堂園雅章

報告文は後掲する。

15 三吉陵墓参考地（奈良県北葛城郡広陵町）外構柵整備工事に伴う調査

畠傍監区、1・2月実施、担当：横田真吾・西村悦二・池田直樹

報告文は後掲する。

16 神武天皇畠傍山東北陵（奈良県橿原市大久保町）御休所板塀改築その他工事に伴う調査

畠傍監区、1～3月実施、担当：松岡隆行・藤田 裕

本陵の東南に位置する御休所の板垣・建仁寺垣を改築することになり、駒寄修繕箇所とあわせて、掘削・埋戻し時に立ち会った（最深で約 0.6 m）。層序は、いずれの箇所でも上から表土、後世の盛土であった。ただし、一部で包含層にもなりうる土層が確認できたが、現状で遺物は認められなかった。

17 雄略天皇丹比高鷺原陵飛地い号（大阪府羽曳野市島泉七丁目）石碑据直その他工事に伴う調査

古市監区、6月実施、担当：安岡徹悦・笹尾佳裕

飛地い号は本陵の円丘部周濠の北方約 80 m に位置し、「隼人塚」とも呼ばれる。現状では三角形状の平面形であるが、等高線は方形にめぐっていることから一辺約 20 m の方墳かとも考えられる。墳頂部には「忠臣隼人之墓」と刻した石碑がある。この石碑は、享保 15 年（1730）に、並河五市郎（並川五一郎、並河誠所）からの建碑願いがあり、村方に差し構えなければ、並河五市郎の「勝手次第」という江戸表からの回答により、建立されたものである。近年、墳頂部にあった樹木の根枯れが進行し、本石碑が転倒する虞が生じてきた。そこで、現在地より 1 m ほど南側に石碑の据直しをおこなうことになり、その際に立ち会った。掘削はほとんど伴わなかった。また、本工事にあわせ、墳丘裾の南側にあった「雄略天皇丹比高鷺原陵^(アヤ)倍塚 宮内庁」とある石標を南西部に移設することになり、そのための掘削等に立ち会った。掘削は約 0.5 m おこなったが、約 0.2 m の厚さの表土下は、年代不明の盛土（黄褐色盛土）であった。遺構遺物は認められなかった。

18 履中天皇百舌鳥耳原南陵（大阪府堺市西区石津ヶ丘）ほか外構柵改修工事に伴う調査

古市監区、1月実施、担当：横田真吾・佐々木靖秋・須藤周太

報告文は後掲する。

19 推古天皇磯長山田陵（大阪府南河内郡太子町大字山田）拝所石垣積替工事に伴う調査

古市監区、3月実施、担当：池西良和・近藤時男

本陵の拝所南西（向かって左側）の石垣隅角部が崩落の虞が生じてきただので、積み替えることになった。石垣の縁石を取り外し、裏込部分の掘削等に立ち会った。石垣裏には、裏込めに使用された径 15～30 cm の栗石が茶褐色土とともに充填されていた。遺構遺物は検出されなかった。

平成 23 年度には上記調査以外に、以下のような調査も実施した。

[墳丘調査] 1 件

20 大入杵命墓（石川県鹿島郡中能登町）

月輪監区、5・6月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎・山本昌弘・安江竜太・濱本厚志・松村一成

墳丘部を中心とした現況測量（縮尺 1/100、25 cm 等高線）を実施した。24 年度にはその飛地い号（亀塚）においても墳丘調査を実施しており、その成果とあわせ、来年度以降に報告する予定である。

[所蔵出土品関係資料調査] 1 件

書陵部で保管している出土品に関する調査を、所蔵者の協力を得て以下の 3 機関においておこなった。

21 加古川市文化財調査研究センター（兵庫県加古川市平岡町新在家）

3 月実施、担当：横田真吾

同市に位置する景行天皇皇后播磨稻日大郎姫命日岡陵関係出土品（埴輪）の調査をおこなった。明らかに本陵出土品と考えられるものは認められなかった。

[関係文献調査] 1 件

22 柳澤文庫（奈良県大和郡山市城内町）

3 月実施、担当：有馬 伸

大和郡山市内に位置する郡山陵墓参考地関係資料の調査を実施した。残念なことに、関連する資料は見当たらなかった。

（福尾正彦）